

東座歌舞伎保存会(白川町)

白川町の旧黒川村には「東座」「春日座」「共進座」という三つの芝居小屋があり、古くから地歌舞伎が盛んに行われていました。
東座は、明治二十二年に舞台部分が完成し、当初は野外で観劇されていましたが、明治三十三年に客席部分が完成し、現在の形となりました。
昭和三十年代には老朽化のため閉鎖されましたが、地域住民の熱意が実り、修復工事が進められ、平成三年に完成しました。修復記念として五代目中村勘九郎丈(故勘三郎)によるこけら落とし公演が行われ、これを機に東座名誉館主に就任されました。同年に「東座芸能保存会」を発足し、平成二十五年に「東座歌舞伎保存会」に改名しました。

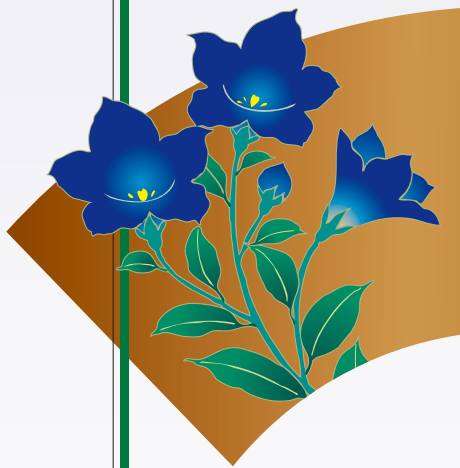
現在は中村高女師匠の指導監修の下、地元の子どもたちから大人までが稽古に励み、多くのボランティアの熱意と協力により毎年五月第三日曜日の「東座ふれあい公演」や中学校の文化祭での公演等様々な行事を行っています。これからも地域一体となって長い歴史のある東座の建物と地歌舞伎の保存及び運営に努めて参ります。



清流の国ぎふ

**地芝居・伝統芸能
フェスティバル**

地歌舞伎公演



坂下歌舞伎保存会(中津川市)

明治二十年代、坂下村(現在の中津川市坂下)では、奉納芸としての地歌舞伎が益々盛んになり、村内の四つの地区それぞれが、神社の境内に芝居小屋を建てました。昭和四十二年、当時の坂下町長を中心に、新しい時代の歌舞伎伝承のあり方と舞台の保存が検討され、会員制の「坂下歌舞伎保存会」が発足しました。同時に、映画館となっていた「萬歳座」は保存会に譲渡され、保存会が管理を行うこととなりました。しかし、旗揚げ公演から間もない同年四月、不審火によって萬歳座を焼失してしまいました。

当保存会では、会員の熱意と地元の支援によって萬歳座焼失の悲劇を乗り越え、坂下神社直会殿を舞台に改造して公演を再開しました。その後は現在の坂下公民館へと舞台を移し、毎年公演を続けています。

また、昭和五十七年からは子ども歌舞伎にも取り組み、当地出身の歌舞伎役者市川笑三郎丈は、少年時代、子ども歌舞伎の人気者で大人顔負けの名演技は、今も語り草となっています。



「清流の国ぎふ」文化祭2024
清流の国ぎふ

**地芝居・伝統芸能
フェスティバル**

地歌舞伎公演

2024年9月23日(月休) 開演 13時30分(開場 12時30分)

◆会場 **ぎふ清流座** (ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール)

◆上演外題・出演
13時30分 (15分)
地芝居大國ぎふ応援大使 秀囃式

13時50分 (60分)
恋飛脚大和柱束 新口村

15時10分 (30分)
坂下歌舞伎保存会(中津川市)

特別プログラム

地芝居大國ぎふ応援大使
岐阜県出身歌舞伎俳優

16時00分 (50分)
希川笑三郎 トークショー



16時00分 (50分)
良辨杉の由来 ニハ堂の場

東座歌舞伎保存会(白川町)



東座歌舞伎保存会



坂下歌舞伎保存会

イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、分かりやすく解説します。

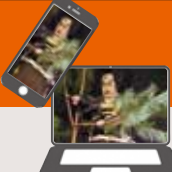
地芝居大國ぎふ応援大使
古典芸能解説者 葛西 聖司氏



ライブ配信

公演の様子をぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネルで配信します。

ぎふ清流文化プラザ
YouTubeチャンネル



地芝居スタンプラリーを開催中!

県内の各公演を巡って地芝居印(スタンプ)を集めて**景品**を貰おう!

《スタンプラリーの楽しみ方》

1. 公演会場で地芝居印帳(スタンプ台帳)を入手
2. 入手した台帳を持って公演を巡る
3. 公演会場でスタンプをもらう
4. スタンプがたまったら景品と交換



地芝居印帳(スタンプ台帳)

県内各地の公演情報はこちら!

地芝居大國ぎふ WEBミュージアム

保存団体による公演情報やアーカイブなど、魅力あふれるコンテンツを発信中!

HP

[X(旧Twitter)] [Instagram] [Facebook]

その1 スタンプ獲得で 全員にその場でプレゼント!

3スタンプ
白川茶ティーバッグ

3スタンプ + 3スタンプ
花の鞋

5スタンプ
五平餅

8スタンプ
オリジナル手ぬぐい

その2 さらに 豪華県産品が抽選で当たる!

5スタンプ
など...

8スタンプ
など...

※写真は景品の一例です。

ぎふ清流文化プラザYouTubeチャンネル

地歌舞伎勢揃い公演など、これまでのぎふ清流座での地芝居公演を配信中国演当日はライブ配信をします。

QRコード

ぎふ清流座次回公演のお知らせ

※詳細はホームページにてお知らせいたします。

10月26日(土)
地歌舞伎・獅子芝居公演

出演 佐見歌舞伎公演実行委員会(白川町)
岐南町伏屋獅子舞保存会(岐南町)
白雲座歌舞伎保存会(下呂市)

10月27日(日)
文楽・獅子芝居公演

出演 室原文楽保存会(養老町)
大井文楽保存会(恵那市)
白山比咩神社獅子舞保存会(恵那市)
筑前琵琶奏者 田中旭泉×大井文楽保存会(恵那市)

地芝居とは

地芝居とは、地元の素人役者によって演じられる地域に根付いた、歌舞伎、文楽、能狂言、獅子芝居の総称です。現在、岐阜県では40を超える地芝居団体が活動しており、毎年各地で定期公演等を行っています。また、県内には歴史ある芝居小屋や舞台が数多く現存しており、築100年を超える芝居小屋でも、毎年公演が行われています。

ぎふ清流座公演開幕の口よ

◆いび祭りども歌舞伎保存会

春口 野衣(小学六年生) 春口 日乃(小学三年生)

恋飛脚大和往来 新口村

坂下歌舞伎保存会(中津川市)

大阪の三度飛脚屋(江戸との間に金の輸送をする飛脚屋)亀屋の養子忠兵衛は、大阪新町の廓で、ある男の意地にかつとなって、思わずお屋敷へ届けるはずの金三百両の封印を切つてしまいます。封印切は公金横領とみなされ、死罪は免れません。死を覚悟した忠兵衛は、愛する梅川を身請けして、故郷大和国新口村へ向かったのです。

むろん忠兵衛には追手がせまります。その目を忍んで新口村に辿り着いた二人は、雪の中を歩いてくる忠兵衛の実父 孫右衛門に出会います。梅川は雪の上で転んだ孫右衛門を助け起こし介抱します。

孫右衛門はうすうすこの女が倅の情婦と察しますが、梅川は孫右衛門に迷惑がかかつてはと名乗ることもできません。忠兵衛の養母 亀屋妙閑への義理を思つて公式に逢うことを拒否する孫右衛門は、よそながら忠兵衛に心情を語つて聞かせます。梅川の機転で目隠しをして親子は対面し涙にくれるのでした。

追手が迫り、孫右衛門は二人を逃がそうとし、逃げる二人を孫右衛門が見送るところで幕となります。

市川笑三郎トークショー

◆市川笑三郎×聞き手 葛西聖司

良辨杉の由来 二月堂の場

東座歌舞伎保存会(白川町)

東大寺の名僧良辨僧正は二歳の時に驚にさらわれ、春日社の杉の木に置かれていたのを東大寺貫主の義淵僧正に救われて名僧になりました。三十年前、わが子を驚にさらわれた母お政は、四国巡礼をして、探し出そうとしていました。折も折、三十石の乗合船で、東大寺の僧正がよく似た身の上であることを聞き、寺の門前までやって来ました。しかし、戸は固く閉ざされています。困っているところへ、辨正が通りかかり良い知恵を授けてくれます。

喜び勇んだお政は、辨正が書いてくれた書き付けを懐に、二月堂の杉の木へと向かいます。大杉に書き付けを貼り待っていると、良辨がお供を従え参拝にやつて来て、張り紙とお政に気づき問いただします。お政の話と、良辨が持っていたお守り袋から、母子であるとわかります。母はわが子の立身出世に驚き、子は母の苦勞をいたわり、涙ながらに無事対面が叶います。

地芝居では、母は近江国の百姓となっています。泥臭く田舎じみた老婆を今は東大寺の高僧となった子が、身分差を越えて対面、母としていたわる姿が共感を呼んでいます。

◆配役

良辨僧正 安江充

小坊主

鈴木大智(中学一年生)

辨正 小池邦弘

〃

鈴木羽南(中学一年生)

お政 田口明代

〃

瀬瀬凛(小学五年生)

金棒 藤井守

〃

藤井玲維(小学四年生)

寺侍 東條伸子

駕籠かき

河合秀明

藤井実知子

〃

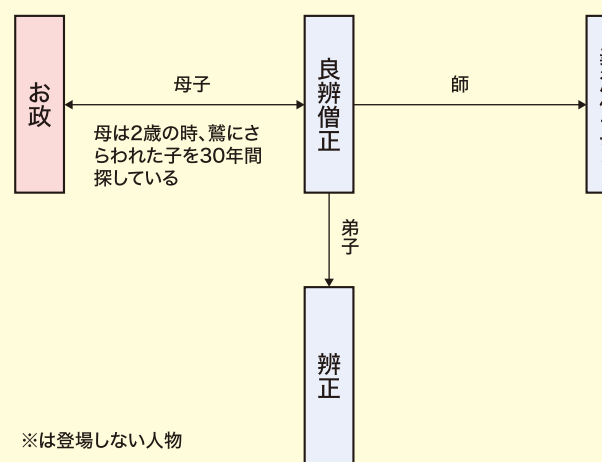
佐伯徹也

徳永紫子

〃

狂言方附け 磯貝哲

良辨杉の由来 二月堂の場



イヤホン同時解説

葛西聖司氏



東京都出身。古典芸能解説者。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオで様々な番組を担当してきた。現在は、歌舞伎や能狂言など古典芸能の解説や講演、また日本伝統文化のセミナーを全国で開催している。「教養として学んでおきたい歌舞伎」、「教養として学んでおきたい能狂言」、「僕らの歌舞伎」、「文楽のツボ」ほか著書多数。令和四年四月より地芝居大国ぎふ応援大使に就任。

◆配役

梅川

安江裕美

忠兵衛

濱田美保子

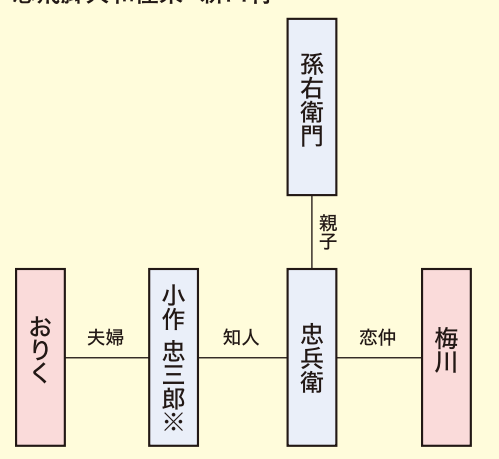
孫右衛門

山内総太郎

おりく

遠藤あゆみ

恋飛脚大和往来 新口村



歌舞伎俳優

市川笑三郎氏



©SHOCHUKU ENTERTAINMENT

昭和四十五年五月六日生。岐阜県中津川市坂下出身。昭和六十二年四月、単身で上京し、三代目市川猿之助(二世・市川猿翁)入門。翌五月名古屋中日劇場にて三代目市川笑三郎を名乗り初舞台を踏む。本年芸歴三十八年を迎え、歌舞伎界の女方として活躍する傍ら、後進や弟子の育成にも力を注ぐ。平成二十九年地元中津川市より観光大使、令和五年十一月常盤座名誉館長を委嘱。令和六年九月岐阜県より「地芝居大国ぎふ応援大使」を委嘱。

協力

振付指導(監修)	中村高女
振付指導	松本団女
太夫	竹本美芳
三味線	豊澤順八
下座	杵屋勘輪咲
顔師	松本宙士
着付	松本茂み
床山	林まゆみ
衣裳	松本真由美
	三浦恵美
	小川厚子
	中津川衣裳